

# 睡眠の質と量を制御する細胞内シグナル

Intracellular signaling regulating sleep quality and quantity

## 船戸 弘正 先生

Prof. Hiromasa Funato

東邦大学医学部解剖学講座 教授

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 客員教授

2023年10月27日（金）午後4時～ 生体調節研究所1階 会議室

Friday, October 27th, 2023 16:00～

IMCR Gunma Univ.1F Conference Room

睡眠は恒常的に制御されているが、睡眠欲求を制御する根本的な生物学的メカニズムはほとんど解明されていない。順遺伝学的アプローチにより睡眠制御に重要な分子としてプロテインキナーゼSIK3を同定した。さらに、順遺伝学および逆遺伝学的アプローチを組み合わせ、SIK3の上流や下流として機能する分子を同定し、ノンレム睡眠を制御する細胞内シグナル系を明らかにした。SIK3の機能獲得型および機能喪失型変異をニューロンタイプおよび脳領域特異的に発現させることにより、興奮性ニューロンの異なる集団が睡眠の量と質を調節していることを示した。単一核RNA-seq解析により、皮質興奮性ニューロンにおけるいくつかの候補遺伝子の発現が明らかになり、SIK3-HDAC4シグナル伝達とネットワークレベルの変化が関連づけられた。

事前予約不要。直接会場にお越しください。

No reservation is required. Please come directly to the venue.

Host: Takeshi Inagaki (inagaki@gunma-u.ac.jp, 8880)